

3. グローバル健康環境教育研究推進プログラム

事業参画大学間の連携プログラムとして実施したものには【連携】を付した。各プログラムの成果については、実施大学のホームページ等に詳細が記載されている。なお、プログラム名に(*)を付したものについては別添の資料が提出されている。これらについては、本事業のホームページの資料あるいは各実施大学のホームページ等でご参照いただきたい。また、参画大学からの事業報告の中で、本事業の主な5つのアドバンスト教育研究プログラムとしても報告があるものについては、プログラム名と簡単な概要を取り上げた。

【2018年（平成30年）度】

1) 学部生、大学院生を対象としたプログラム

<東北大学>

○ 台北医科大学との部局間学術協定事業【連携】

- ・学部生及び大学院生を対象として、台北医科大学との部局間学術協定に基づいて、短期間の学術交流を実施した。
- ・東北大学薬学部への当該大学からの特別研究学生の受入を行い、北海道大学との連携によって、学生及び教員の派遣を行い、交換留学プログラム報告会を開催した。

<金沢大学>

○ 環境要因による疾病の解明と防止を担う国際医療人育成プログラム

- ・大学院生を対象として、2014年度に環境要因と疾病の関連解明、環境保全、疾病予防に関する専門知識と総合研究能力を有する国際医療人を育成するコースを設置した。
- ・本プログラムでは、2017年度に引き続き、金沢大学の環境と健康に関する豊富な研究・教育における実績を活かして、1) 疾病を誘発する環境要因を明らかにし、疾病予防に結びつけるための高度な研究力の養成、2) 日本人学生も含めた協同学習で国際コミュニケーション能力の涵養、3) 国際機関や各国政府・自治体、研究機関、企業等で環境計測、健康影響評価、予防施策を実践・指導できる人材の養成を図った。

<熊本大学>

○ 米国ニューメキシコ大学（UNM）海外連携教育プログラムの開発

- ・UNMとの国際通用性の高い薬学学部教育プログラムの開発を行った。

2) その他（大学としての取組等）